

AUTOMATIC TRANSACTION SYSTEM

Publication number: JP2000123221 (A)

Publication date: 2000-04-28

Inventor(s): OKAMOTO KOICHI +

Applicant(s): OKI ELECTRIC IND CO LTD +

Classification:

- **international:** *G07D9/00; G06F3/00; G06F3/048; G06F19/00; G06Q40/00; G07D9/00; G06F3/00; G06F3/048; G06F19/00; G06Q40/00; (IPC1-7): G07D9/00; G06F3/00; G06F19/00*

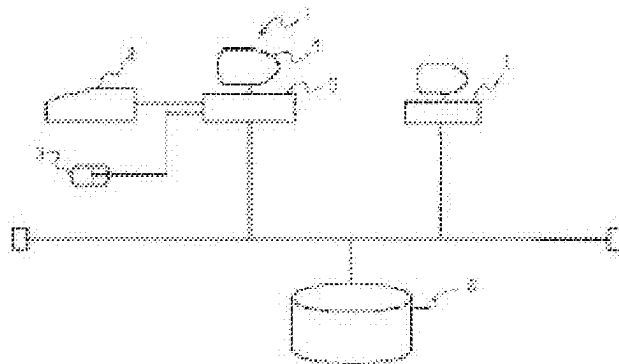
- **European:**

Application number: JP19980295834 19981016

Priority number(s): JP19980295834 19981016

Abstract of JP 2000123221 (A)

PROBLEM TO BE SOLVED: To make reusable data inputted by an operator in the past. **SOLUTION:** When an operator requests the save of a transaction input screen, a controller 5 of a terminal equipment 1 displays a transaction save screen, and allows the operator to input a save number and a descriptive text, and to preserve them together with information constituting the transaction input screen in a server 6. Then, when the operator requests the load of the saved transaction input screen, the controller 5 displays a transaction load and deletion screen, and displays the list of identification information, and allows the operator to select a desired transaction input screen from this, and the selected transaction input screen is called from the server 7, and displayed on a display 4.



Data supplied from the ***espacenet*** database — Worldwide

Family list

1 application(s) for: **JP2000123221 (A)**

1 **AUTOMATIC TRANSACTION SYSTEM**

Inventor: OKAMOTO KOICHI

Applicant: OKI ELECTRIC
IND CO LTD

EC:

IPC: *G07D9/00;*
G06F3/00; G06F3/048;
(+10)

Publication **JP2000123221 (A)** - 2000-04-28 **Priority Date:** 1998-10-16
info:

Data supplied from the **espacenet** database — Worldwide

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2000-123221
(P2000-123221A)

(43)公開日 平成12年 4 月28日 (2000. 4. 28)

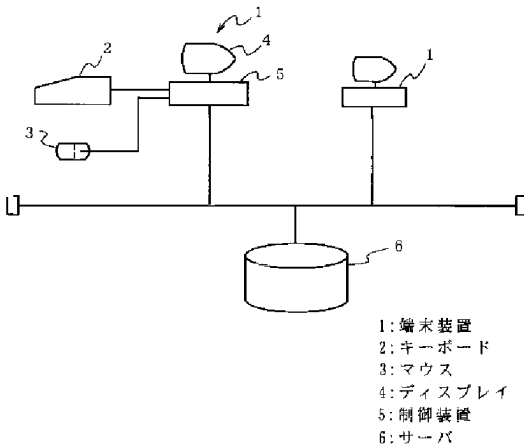
(51)Int.Cl. ⁷		識別記号	F I		テマコード* (参考)	
G 0 7 D	9/00	4 2 6	G 0 7 D	9/00	4 2 6 C	3 E 0 4 0
G 0 6 F	3/00	6 5 1	G 0 6 F	3/00	6 5 1 A	5 B 0 5 5
	19/00			15/30	B	5 E 5 0 1
					3 2 0	

審査請求 未請求 請求項の数1 O L (全 4 頁)

(21)出願番号	特願平10-295834	(71)出願人	000000295 沖電気工業株式会社 東京都港区虎ノ門1丁目7番12号
(22)出願日	平成10年10月16日 (1998. 10. 16)	(72)発明者	岡本 浩一 東京都港区虎ノ門1丁目7番12号 沖電気工業株式会社内
		(74)代理人	100069615 弁理士 金倉 喬二
		Fターム(参考)	3E040 FJ05 5B055 BB04 MM02 PA05 PA35 5E501 AA09 AC07 BA05 CA02 CB02 CB09 DA17 EA05 EA10 EB05 EB17 FA03 FA23

(54)【発明の名称】 自動取引システム

(57)【要約】
【課題】 オペレータが過去に入力したデータを再利用できるようにする。
【解決手段】 端末装置1の制御装置5は、オペレータが取引入力画面のセーブを要求すると、取引セーブ画面を表示し、オペレータにセーブ番号と説明文を入力させて取引入力画面を構成する情報とともにサーバ6で保存させる。そして、オペレータがセーブしてある取引入力画面のロードを要求すると、取引ロード・削除画面を表示し、識別情報の一覧を表示してその中から所望の取引入力画面を選択させ、選択された取引入力画面をサーバ6から呼び出してディスプレイ4に表示する。



本発明の自動取引システムの実施の形態の一例を示すブロック図

【特許請求の範囲】

【請求項1】オペレータがディスプレイに表示される取引入力画面に各種情報を入力して取引を行う自動取引システムにおいて、
取引入力画面で入力した情報に、識別情報を付加した取引入力画面情報を複数保存する手段と、
少なくとも前記識別情報の一覧を前記ディスプレイに表示して、複数の取引入力画面情報から所望の情報を選択させる手段と、
選択された取引入力画面情報を呼び出してディスプレイに表示する手段とを備えたことを特徴とする自動取引システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、金融機関に設置される自動取引システムに関するもので、特に、オペレータが操作する端末装置における表示機能に関するものである。

【0002】

【従来の技術】金融機関の自動取引システムでは、オペレータが端末装置を操作して各種情報を入力して取引を行う。ここで、オペレータが入力した情報はサーバ等に保存されるが、これを次回以降の取引で再利用する手段はないので、同じ顧客が同じ取引を依頼する場合でも、その都度同じ情報を入力していた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】このように、従来は、一度入力した情報を再利用する手段がなかったため、同じ情報を何度も入力する必要が生じ、オペレータの入力負担が増大するという問題があった。

【0004】

【課題を解決するための手段】上述した課題を解決するため、本発明は、オペレータがディスプレイに表示される取引入力画面に各種情報を入力して取引を行う自動取引システムにおいて、取引入力画面で入力した情報に、識別情報を付加した取引入力画面情報を複数保存する手段と、少なくとも前記識別情報の一覧を前記ディスプレイに表示して、複数の取引入力画面情報から所望の情報を選択させる手段と、選択された取引入力画面情報を呼び出してディスプレイに表示する手段とを備えたものである。

【0005】

【発明の実施の形態】図1は本発明の自動取引システムの実施の形態の一例を示すブロック図である。図において、1は端末装置で、キーボード2、マウス3、ディスプレイ4、CPUやメモリやハードディスク等を備えた制御装置5等より構成される。

【0006】6は前記端末装置1とLAN等を介して接続されるサーバで、各端末装置1で入力された情報や、各端末装置1が利用する情報等を記憶する。なお、自動

取引システムには、プリンタや現金自動入金装置や通帳記帳機等も接続されるが、ここでは図示しない。端末装置1の制御装置5には、取引入力画面セーブ機能と、取引入力画面ロード・削除機能が組み込まれている。すなわち、制御装置5は、取引種別に応じて所定の取引入力画面をディスプレイ4に表示し、キーボード2やマウス3の操作で入力された顧客名や口座番号等を、前記取引入力画面の所定のフィールドに表示する。

【0007】そして、この取引入力画面を構成するデータに番号や説明文を付けてセーブするため、取引セーブ画面を表示するとともに、セーブしてあるデータの中から所望のデータを呼び出したり、削除するために、取引ロード・削除画面を表示する。取引セーブ画面あるいは取引ロード・削除画面を呼び出すため、例えば、取引入力画面に取引セーブボタンと取引ロード・削除ボタンを設けてマウス3で選択可能としたり、キーボード2のあるキーを取引セーブキーと取引ロード・削除ボタンに割り当てる。

【0008】そして、取引セーブボタンあるいは取引セーブキーが操作されると、取引セーブ画面を表示する。図2は取引セーブ画面の一例を示す説明図である。取引セーブ画面は、複数の取引入力画面を区別して取引セーブファイルにセーブするため、セーブ番号を入力するセーブ番号入力フィールド7と、セーブの目的等の情報を入力する説明文入力フィールド8が設けられるとともに、セーブ済みの取引入力画面の一覧9が表示される。

【0009】これに対して、取引ロード・削除ボタンあるいは取引ロード・削除キーが操作されると、取引ロード・削除画面を表示する。図3は取引ロード・削除画面の一例を示す説明図である。取引ロード・削除画面は、取引セーブファイルにセーブしてある取引入力画面をロードするか削除するかを選択を行わせる処理番号入力フィールド10と、ロードあるいは削除する取引入力画面の選択を行わせるためのセーブ番号入力フィールド11が設けられるとともに、セーブ済の取引入力画面の一覧9が表示される。

【0010】図4は取引セーブファイルのフォーマットの一例を示す説明図で、取引セーブファイルとは、取引入力画面セーブ機能により各種情報を蓄積するためのファイルであり、セーブ番号をキーに登録されるもので、本実施の形態では、サーバ6に設ける。ここで、取引入力画面をセーブするにあたり、セーブする情報は、この取引セーブ画面で入力されたセーブ番号、説明文と、取引入力画面で各フィールドに入力された入力データおよびフィールドと取引入力画面との関係と、その入力中の画面に付与されている画面番号に加えて、行っていた取引名、セーブ日付等の付加情報をセーブする。

【0011】そして、セーブ済の取引入力画面の一覧には、識別情報として、セーブ番号、画面番号、取引名、セーブ日付、説明文を表示する。以下に動作を説明す

る。普通預金、入金等の取引入力画面に対して、オペレータが入力中に取引セーブボタンあるいは取引セーブキーを操作すると、制御装置5は図2に示すような取引セーブ画面を呼び出してディスプレイ4に表示する。

【0012】オペレータは、取引セーブ画面においてセーブ番号入力フィールド7にセーブ番号を入力し、さらに、セーブ目的等の情報を説明文入力フィールド8に入力する。そして、「OK」が押されると、制御装置5は取引セーブ画面で入力されたセーブ番号、説明文と、取引入力画面で各フィールドに入力された入力データおよびフィールドと取引入力画面との関係と、その入力中の画面に付与されている画面番号、行っていた取引名、セーブ日付等の付加情報をサーバ6に送り、セーブする。

【0013】普通預金、入金等の取引入力画面に対して、オペレータがセーブしてある取引入力画面の情報を呼び出したい場合は、取引ロード・削除ボタンあるいは取引ロード・削除キーを操作する。これにより、制御装置5は図3に示すような取引ロード・削除画面を呼び出してディスプレイ4に表示する。オペレータは、セーブ済の取引入力画面の一覧9を見て、セーブしてある取引入力画面をロードするか削除するかを選択を行って所望の番号を処理番号入力フィールド10に入力し、ロードあるいは削除する取引入力画面の選択を行って所望の番号をセーブ番号入力フィールド11に入力する。

【0014】ここで、セーブ済の取引入力画面の一覧9には、識別情報としてセーブ番号、画面番号、取引名、セーブ日付、説明文が表示されるので、オペレータへの有効な情報となる。処理としてロードが選択された場合は、オペレータが指定したセーブ番号で特定される情報がサーバ6から呼び出され、制御装置5は、各フィールドに情報が入力済みの取引入力画面としてディスプレイ4に表示する。

【0015】このように、過去に入力した情報を取引入力画面として呼び出せるので、オペレータは過去に入力した情報を再利用でき、オペレータの入力負荷が軽減さ

れる。なお、処理として削除が選択された場合は、オペレータが指定したセーブ番号で特定される情報が取引セーブファイルから削除される。

【0016】ここで、本実施の形態では、取引セーブファイルをサーバ6で持つことにしたが、各端末装置1で持つことにしてもよい。

【0017】

【発明の効果】以上説明したように、本発明は、オペレータがディスプレイに表示される取引入力画面に各種情報を入力して取引を行う自動取引システムにおいて、取引入力画面で入力した情報に、識別情報を付加した取引入力画面情報を複数保存しておき、前記識別情報の一覧を前記ディスプレイに表示して、複数の取引入力画面情報から所望の情報を選択させ、選択された取引入力画面情報を呼び出してディスプレイに表示することとしたので、オペレータは過去に入力した情報を再利用でき、オペレータの入力負荷が軽減される。

【0018】また、取引入力画面で入力した情報に識別情報を付加して保存しておき、この識別情報の一覧を表示することで、所望の情報を容易に選択できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の自動取引システムの実施の形態の一例を示すブロック図

【図2】取引セーブ画面の一例を示す説明図

【図3】取引ロード・削除画面の一例を示す説明図

【図4】取引セーブファイルのフォーマットの一例を示す説明図

【符号の説明】

- 1 端末装置
- 2 キーボード
- 3 マウス
- 4 ディスプレイ
- 5 制御装置
- 6 サーバ

【図2】

No.	画面No.	取引名	セーブ日付	説明
1	2001	普通預金 入金	98. 3. 3	×××
50	2002	普通預金 新規	98. 1. 10	×××
51	3002	当座預金 新規	98. 1. 15	×××

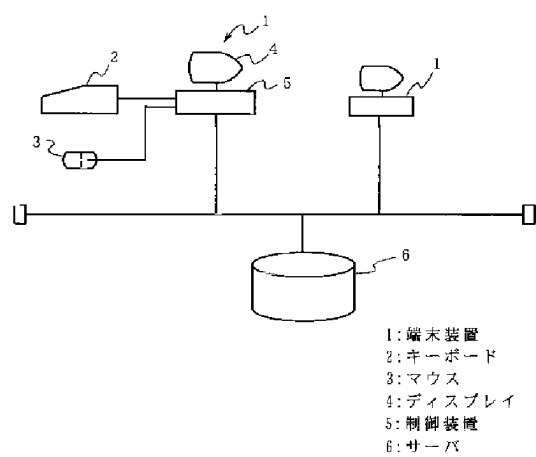
取引セーブ画面の一例を示す説明図

【図3】

No.	画面No.	取引名	セーブ日付	説明
1	2001	普通預金 入金	98. 3. 3	×××
50	2002	普通預金 新規	98. 1. 10	×××
51	3002	当座預金 新規	98. 1. 15	×××

取引ロード・削除画面の一例を示す説明図

【図1】



本発明の自動取引システムの実施の形態の一例を示すブロック図

【図4】

セーブNo.	1
画面情報	〜
入力データ	〜
付加情報	〜
	〜

取引セーブファイルのフォーマットの一例を示す説明図